

入社前研修でリモート研修のデメリット克服を

来年度の新入社員研修の多くは、リモート研修となるでしょう。

しかし、リモート研修にはデメリットがあります。

その一つが、“**参加者同士の一体感が醸成しにくい**”ことです。

集合研修であれば、休憩時間や昼食時に参加者同士が雑談をしたり、情報交換をしたりし、コミュニケーションがはかれます。また、研修終了後も同様です。合宿研修であれば、なおさらコミュニケーションが深まりやすくなります。それらによって、お互いの理解が深まり、一体感も高まります。

しかし、それらがしづらいのがリモート研修です。できないわけではありませんが、休憩となり、全員がカメラ・マイクオフになった状態では、誰に話しかけてよいのかわかりません。また、全員が映った場合、特定の個人に話しかけるのも、非常にしづらいものです。さらに、研修終了後、全員が退出してしまえば、もうコミュニケーションは無理です。

お互いよく知らない新入社員同士では、コミュニケーションをとる困難度はさらに高くなります。特に、コロナ渦で全員が一堂に会することがないか、あってもコロナ前よりは減少しているのです、尚更です。

この状態のままでは、同期同士の仲間意識、一体感、安心感が醸成することができず、不安心理が高まってしまいます。その日の研修が終わった瞬間、もう一人きりになってしまいますし…。特に最近の若手社員は、他人からの承認欲求（“いいね！”を欲しがる）を強く求める傾向があるので、一体感は極めて重要です。それがないと早期退職にもつながりかねません。

そこで、新人同士が一体感を醸成できる研修を入社前に実施することをお勧めします。

一体感を醸成する入社前研修	
研修名	チームワーク力向上研修
概要	チームワークの本質理解とチームワーク力向上
効果	<ol style="list-style-type: none">1. 新人達同士の一体感が高まる2. それにより、新人達の不安が減少する3. チームワークの本質が理解され、その後の研修や配属後に生きる (特にチームワークとは、単なる仲良しクラブではないこと)4. 自分たちで決めたチームワークルールで、入社研修を受講し、効果が高まる5. 人事側が、新人の人となりを客観視できる

入社前に一体感をある程度醸成できれば、入社後のリモート研修の効果も大きく異なります。ご興味・ご質問のある方、下記までご連絡下さい。

> お問い合わせはこちら